



チャレンジド

2019年2月20日発行

〒639-3125 吉野郡大淀町北野 130-11
☎ 0746-32-3600 Fax 0746-32-1580
E-mail na.challenged@gmail.com
http://n-challenged.net

～南都銀行の特例子会社がスタート～

なんとチャレンジド(株)が障害のある6人を採用！

県立高等技術専門校5人、NPO法人ならサポートワークラボ1人



辞令交付



西上浩史・なんとチャレンジド代表取締役



西川恵造・南都銀行取締役常務執行役員

◆ 新入社員の決意 ◆

- 常に挑戦し成長し続けます。
- “できないこと” “不得意なこと” にこだわることなく、
“できること” “得意なこと” に集中し、個性をみがきます。
- 南都銀行グループの一員として、地域社会に貢献してまいります。

新入社員6人は、職場実習を繰り返し行い、なんとチャレンジド株式会社の正社員として採用されました。西上浩史・同社代表取締役から「可能な限り挑戦し、できること、やりたいことを伸ばしてほしい」「挑戦、信頼、協調の3つの約束を守り、仕事に励んでください」と、激励のお言葉をいただきました。

西川恵造・南都銀行取締役常務執行役員から心あたたまる祝辞をいただきました。

新入社員は、「働けることをたいへんうれしく思います」「会社のために1日も早く戦力になれるようになりたいです」「正確に、すばやく仕事ができるように頑張ります」等、決意表明し、今後、南都銀行営業店の事務用品発送、小切手帳発行、名刺印刷、ゴム印制作、データ入力等の業務を担っていきます。

4月には、高等養護学校生徒2人も採用されます。

2010年、職場実習を取り組み始めて以来9年！実習生の頑張り、現場社員さんのあたたかい対応、南都銀行さんの決断、この3つが揃って、初めて就労への道が切り拓けました。引き続き就労を応援させていただきます。

職場実習

病院、銀行、鉄道会社等で取り組んでいます

～ 事業所のみなさま

ありがとうございます！～



奈良県立医科大学附属病院、1/7~11
奈良西養護学校3年生 【実習】環境整備



なんとチャレンジド(株) 11/19~22
高等養護学校3年生 【実習】名刺印刷等



奈良県総合医療センター 12/12~21
高等養護学校3年生 【実習】看護補助



近鉄奈良駅 12/3~7
高等養護学校2年生 【実習】改札業務



奈良交通サンマルク橿原店 12/25~28
高等養護学校2年生 【実習】調理補助、食器洗浄他



奈良市和楽園 1/15~18, 1/23~29
高等養護学校2年生 【実習】環境整備



～ 医療現場で活躍する卒業生たち ～

奈良県総合医療センター ^{かまた} 鎌田 ^{りょう} 遼 さん（奈良東養護学校卒、20歳）
◎心臓血管センター 【看護補助】患者さん移送、医療器具配送、器具管理等

鎌田遼さんは就労して3年。奈良県総合医療センターの救命救急センターで職場実習を繰り返し体験し、2年間、同センターで働いてきました。昨年5月、新病院移転に伴い、心臓血管センターへ異動。



鎌田さんは、現在、病棟の看護補助業務をひとりで担っています。

「看護師さんたちを助ける仕事なので、頼まれたこと、急ぎのことは、すぐしています。患者さんのために速く仕事をするようにしています」

鎌田さんがいちばんうれしいことは、「患者さんから“こんな広い病院で迷わず送ってくれてありがとう！”と言ってくれることです」。

これからの目標は、「後輩たちを引っ張っていくために、新しい仕事をして、覚えて、後輩たちへ教えられるようになりたいです！」



福谷まり子看護師長

福谷まり子看護師長は、職場実習のときから救命救急センターで鎌田さんを指導されてきました。新病院移転に伴い、福谷看護師長は、「私が責任をもって鎌田くんを連れていく！」と、鎌田さんと一緒に心臓血管センターへ異動。

「鎌田くんは看護師さんたちから頼りにされており、病棟では“鎌田くんコール”ばかりです」

「鎌田くんは努力しており、今後、社会人として成長していくのが楽しみです！」

奈良県立医科大学附属病院 ^{やぶもと} 藪本 ^{ゆき} 侑希 さん（大淀養護学校卒、24歳）
◎高度救命救急センター（外来病棟） 【看護補助】ベッドメイキング、物品補充、環境整備等

藪本さんは、大淀養護学校卒業後、2か所の事業所で就労し、2016年5月、奈良県立医科大学附属病院へ就職しました。小児センター等を経験し、昨年10月から現在の高度救命救急センター（外来病棟）の看護補助業務をひとりで担っています。

「仕事の量は増えただけで、自分のペースで仕事ができるので、気持ちが楽になりました」「いろいろな仕事ができ、看護師さんといい関係なので、仕事を休みたいとは思いません」と、笑顔で話す藪本さん。



藪本さんの目標は、「休まず、長い期間、仕事を続けたい！」。

増田栄看護師長は、藪本さんが他の部署で愛想よく挨拶をきっちりし、活躍する姿を見て、是非、同センターで働いてほしいと思ったそうです。

「藪本さんは、教えたことをきっちりしてくれ、真面目で、私達のチームの一員として大切な人材です」 「得意なことを発揮してもらえるように、1日1回、必ず顔を見て声かけをしています。その日々の積み重ねが信頼関係を築き、本人のやりがい、成長につながると思います」

「藪本さんは、今後、自分で考え、こんなことをしたいなあ！という自主性を発揮していただける方であると期待しています」



増田栄看護師長

「働く広場 1月号」（発行：独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構）

奈良医大病院で就労する係員が6ページにわたり紹介されています。＊ホームページ「働く広場 1月号」検索

地域に帰ろう

生徒はいきいきと
地域活動をしています



奈良県立医科大学公開講座

9/22 奈良県橿原文化会館
【受付】大淀養護、高等養護学校 3人



やまと高田元気ウィーク

11/12 JR高田駅東側広場
【啓発グッズ配付】高等養護学校 3人



病院まつり「あをによし祭」

10/20 奈良県総合医療センター
【ボランティア】高等養護学校 3人



ならシネマテーク

10/26 12/7
【受付】奈良西、高等養護学校 3人



2018 まほろば円舞祭

11/26 なら100年会館
【受付】奈良東、奈良西、高等養護学校 3人



香芝冬彩

12/15 香芝親水公園
【ボランティア】西和養護学校生徒



バンビシャス奈良 試合

1/27 奈良市中央体育館
【受付】高等養護学校 2年生

～奈良交通(株)の全面的協力(無料)で6年連続の開催!～
奈良養護学校生徒がバス乗車体験講習

1/30 高等部生徒5人



「とても勉強になりました」「よかったです」「新鮮な気分になりました」等、生徒たちはとても喜んでいました。奈良交通社員さんからのバス乗車体験講習を受け、安心して、路線バスへ乗ることができます。公共交通機関を利用して街へ出かけよう!

この講習会から路線バスを利用して単独通学、就労へとつながった車いす利用の卒業生がいます。

奈良中央信用金庫創立70周年記念誌

～岸本亜矢子さん(明日香養護学校卒)のイラストが掲載!～



(表紙)



(表紙の裏)



(4ページ)

奈良中央信用金庫さんとは2014年(H26)、岸本亜矢子さんが同金庫アート展での出展がご縁となり、2016年にはペン立て、2018年にはクリアファイルに岸本さんの作品を使用させていただきました。また、昨年は、同金庫70周年記念定期預金通帳デザインを依頼され、そのデザインが70周年記念誌の表紙絵となっています。岸本さんデザインのカレンダー「ライオン丸」も4か所に掲載。

岸本さんは、高校2年生の秋、交通事故にあい、首から下が不自由になる。入院中、友人へ口で絵を描いたのがきっかけとなり、イラストを描くようになり、現在、オリジナルのカレンダー制作、販売など活躍中です。

大淀町人権フェスティバル

12/8 大淀町文化会館

【出演】高等養護学校ダンス部

【ゆるキャラ、募金活動】大淀、高等養護学校 4人



高等養護学校ダンス部は、生徒、卒業生が一体となった見事なダンスを披露しました。また、ダンスの合間に高等養護学校山辺分教室生徒2人が歌を披露。

募金してくれたことに感激して、目を真っ赤にして泣く生徒！生徒の心へ響いています。

識字合同学習会

12/15 川西文化会館

【司会、受付】高等養護学校 1年生 3人

【主催】奈良県人権教育推進協議会、奈良県教育委員会



県内の被差別部落で取り組まれる識字学級、日本語を学ぶ夜間中学校や日本語学級で学ぶ方々のふれあい、交流を目的に開催されました。「学ぶ！」ことが「生きる根源的な願い！」であることを教えられます。

パンフレット表紙には、奈良東養護学校生徒のアート展出品が掲載されています。

歳末たすけあい新作カレンダーチャリティバザー

12/7~20 イオンモール高の原、大和郡山、近鉄百貨店橿原店

【スタッフ】奈良東、奈良西、二階堂、大淀、高等養護学校 19人

【主催】奈良県共同募金会



カレンダーは企業、団体、個人から奈良県共同募金会へ寄贈され、購入者はカレンダー代金を年末たすけあい募金として寄付します。生徒たちは、スタッフとして、販売活動を応援しました。寄付金は 647,842 円です。

知的障害者サッカーチーム 奈良クラブ「バモス」の活躍！



もうひとつのワールドカップ（スウェーデン）

去る8月、バモスの丸山一喜選手、徳村雄登選手がもうひとつのワールドカップ（INAS サッカー世界選手権2018、スウェーデン）へ日本代表チームで出場し、6位と健闘しました。

11月18日、バモスは関西サッカー選抜リーグで優勝！宿敵の大阪チームにPK戦で勝利し、3月、全国大会へ関西代表で出場します。 ◎第16回全日本知的障害者サッカー選手権チャンピオンシップ

・3/16（土）～17（日） ・岐阜市北西部運動公園、島西運動場

障害者歯科治療 40年！ 正田歯科医院長



正田農夫（しょうだ あさお）院長は、約40年前、田原本町の奈良県心身障害者福祉センター内の障害者歯科衛生診療所の立ち上げから関わり、以来、障害者歯科治療をはじめ寝たきりのお年寄りの訪問診療、無医村のへき地歯科治療等を精力的にされています。患者さんへやさしい、温かな人柄です。

◎正田歯科医院（近鉄八木西口駅 徒歩6分）
橿原市内膳町2-7-9 電話0744-24-4454

よく噛んで健康に シリーズ 2

① 歯はなぜ磨かなければならないの？

どなたもよくご存じと思いますが、歯磨きは、歯の周りについて食べカスをとるだけではなく、歯の表面や付け根にくっついた、ネバネバした歯垢（しこう）をとることが大切です。

歯垢とはバイキンが作り出した毒素と、とんでもない数のバイキンのかたまりです。こいつが口の中にあるだけで口臭（お口のにおい）の原因になりますが、歯の付け根から歯ぐきの血管の中に入れば、そのバイキンや毒素が体中にまわって心臓の病気や糖尿病などいろんな全身の病気を引き起こすこともわかってきています。たいへんこわい！！

② 歯垢はていねいにみがけば取れる！

歯にくっついた食べカスはうがいでも大体取れますが、ネバついた歯垢は歯ブラシでこすらないとうがいだけでは取れません。ただし、外出した時はすぐ歯磨きができません。だからお茶を飲んだり、水でうがいするだけでも食べカスを洗い流せるので必ずしましょう。

歯垢は歯ブラシでしか取れないからと言って、強い力で歯ブラシを動かすと歯が徐々に削れてしまいます。家では、食後すぐ水でうがいをしてから、力を入れ過ぎずていねいに磨きましょう。歯みがきペーストはほんの少しつけるくらいがよいでしょう（つけなくてもよい）。もちろん夜寝る前が一番大切です。

執筆は正田農夫歯科医院長がされています。次回は「むし歯はほっておくとたいへん！」についてです。

山口歩さん（生駒市在住）NHK障害福祉賞の最優秀賞！

～ 自閉症兄弟2人の子育て奮闘記 「もしも願いが叶うなら」～



山口ファミリー

マオ
真生さん、歩さん、幸人さん、ユウ
悠生さん（左から）



山口歩さん

贈呈式・NHK放送センター



「兄弟コラボ作品」

書：悠生さん 生駒市立緑ヶ丘中学3年
イラスト：真生さん
奈良県立奈良西養護学校高等部2年

12月5日、NHK放送センター（東京）で障害のある人やその家族などがつづった体験記に贈られる「第53回NHK障害福祉賞」の贈呈式が行われ、山口歩さん（51歳）の「もしも願いが叶うなら ～かあちゃんとうちゃんの、おもしろ子育て奮闘記」が最優秀賞に選ばれました。誠におめでとうございます。

自閉症兄弟2人の子育て奮闘記（約8千字）は、山口さん夫婦の子どもへの愛が満ちあふれており、悲しく、つらい体験から笑顔あふれる“共感”が根底にある手記です。多くの人たちが勇気づけられます。

山口歩さんに受賞の感想、これまでの子育て等について話を伺いました。（県立奈良西養護学校進路相談室にて）

受賞されて・・・

「愉快地に生きている私たち家族がいることを多くの人に知ってほしいです。障害のある子どもを知ってほしい！その一心でやってきました。こんなにも喜んでくれる人がいる、応援してくれる人がいる、NHKテレビを見て元気になってくれる人がいることが、とてもうれしいです」

“ごめんなさい。すみません”から“ありがとうございます”へ・・・

「子どもたちが小さいころは、私には“ごめんなさい。すみません”しか言葉がありませんでした。この子どもたちが落ち着ける環境を模索して、2度、引っ越しもしました。日々の暮らしの中でも、買い物やお出かけ、学校生活では、音楽祭、運動会等の行事でも、マオとユウができる可能性を探ってきました。そんな中で、ちょっとずつだけど、できることが増えてきたんです。子どもたちの不思議な行動も“なんで、こんな事するんやろう??”と子どもの気持ちに立って、時には、私も高い棚に登ってみたいりしましたよ(笑)。マオ、ユウを知ってくださる輪が、子どもや先生、保護者等に広がり、“ありがとうございます”という言葉が自然とできるようになりました」



「虹へび」 山口真生さん
県立奈良西養護学校高等部2年

マオくん、ユウくんが手をつないでNHK放送センターへ・・・

「マオ、ユウの2人が手をつなぎ、明るく会場へはいると、NHK職員の皆さんは涙ぐみ、あたたかく迎え入れてくださいました。NHKのEテレのハートネットTV（12/18放映）に出演でき、多くの人が喜んでくださり、とてもうれしいです。これからも、子どもたちの“自己選択”を大切にしながら、この子たちを知ってほしい！と願いを込めて、いろいろな場面でしゃべり続けます」

NHK厚生文化事業団ホームページに掲載 第53回NHK障害福祉賞の最優秀賞
山口歩さん 手記「もしも願いが叶うなら ～かあちゃんとうちゃんの、おもしろ子育て奮闘記」

